

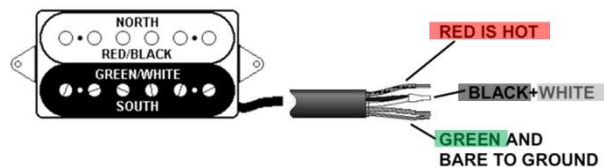
DiMarzio® ピックアップの交換手順

4コンダクタ（4芯）タイプ・ピックアップ編

！ ハンダごてなどの工具の取り扱いには十分にご注意ください。
ピックアップは大変デリケートな製品です。お客様ご自身で交換される際に発生した事故、故障、さらにギターや他の部品の破損等は保証の対象外となります。
予めご了承ください。
交換作業に少しでも不安がお有りの場合は、専門の担当者、リペアマンにご依頼頂くことをお勧めします。

この説明書は、DiMarzio®ピックアップのうち、フルサイズ・ハムバッカー、ミニ・ハムバッカー、ツインブレード・タイプのシングル・サイズおよびテレ・サイズ・ハムバッカーの4コンダクタ（4芯）タイプ・ピックアップに対応しています。
4コンダクタ・タイプであっても、HS™、Area™、Virtual Vintage™などバーチャル・タイプの（スタック・タイプの）ハムバッキング・ピックアップには対応していません。

①コイルと各線の説明、及びシリーズ・ワイヤリングとパラレル・ワイヤリング



- ピックアップからは赤、黒、白、緑、ハダカ線の5本が出ています。
- 各コイルの巻始めと巻終わりの関係は
NORTH側：赤→黒
SOUTH側：白→緑 です。

■シリーズ（直列）ワイヤリング

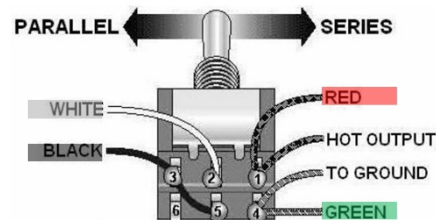
- もっともスタンダードなワイヤリングであるシリーズ・ワイヤリングの場合、NORTH側コイルの巻き終わり（黒）とSOUTH側コイルの巻き始め（白）をハンダで結線します。
- 結線後、ハンダ部分が他へ接触しないようテープでカバーしてください。
- ホット（+）は赤、コールド（-）は緑、ハダカ線がアースとなります。
- ご自身のギターの回路に沿い、もともとホット線を繋いでいた部分または2コンダクター・ピックアップの芯線を繋いでいた部分へDiMarzio®ピックアップの赤（ホット）を結線します。
- DiMarzio®ピックアップの緑（コールド）はハダカ線と共にアースへ落として（ハンダ付け）下さい。

！ 2基のハムバッキング・ピックアップから成るギターで、二つのピックアップをミックス（ハーフトーン）で使用したときに、音が小さく低音の出ない“フェイズアウト”になる場合があります。
この時は上記で述べた緑をホット、赤をコールドになるように再度配線を変更してください。

■パラレル（並列）ワイヤリング

- 2つ目のチョイスとなるパラレル・ワイヤリングの場合、パワフルさはやや失われますが高音域が強化され全体的にクリーンなトーンとなることが特徴です。この場合はまず、NORTH側コイルの巻き始め（赤）とSOUTH側コイルの巻き始め（白）をハンダで結線します。これがホット（+）になります。
- 次に、黒と緑を結線してください。こちらはコールド（-）で、アースへ落としてもらうことになります。
- もちろんハダカ線もアースへと落としてください。
- シリーズ・ワイヤリングの時と同様に、フェイズアウトした場合はホットとコールドを入れ替えてください。

②デュアル・サウンド・ワイヤリング



■デュアル・サウンド・ワイヤリング

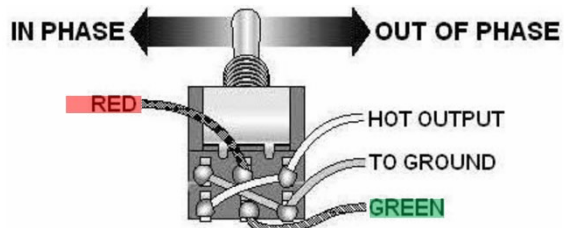
ダブル・ポール・ダブル・スロウ（DPDT）スイッチもしくはプッシュ&プル機能付きのポットを用いることにより、ハムバッキング・ピックアップの2つのコイルをシリーズ（直列）、あるいはパラレル（並列）に切り替え、左ページで述べた2つのサウンドを楽しめる配線です。

- DPDTスイッチを用いた配線は図の通りとなります。DiMarzioピックアップの各色線をスイッチへ結線してください。
- スイッチの3番極と5番極にはジャンパー配線が必要になります。
- ご自身のギターの回路に従ってもともとホット線を繋いでいた部分に、図の“HOT OUTPUT”を結線してください。

！ 他のピックアップとフェイズアウトになる場合は、HOT OUTPUTとアースの位置を入れ替えてください。
また、ピックアップのハダカ線は常にアースに落として使用してください。

+ DiMarzioパーツのEP1106（6P ON-ON）または、同じくEP1200PP（250Ω）、EP1201PP（500Ω）を使用してこの配線を実現することができます。
なお、EP1108（6P ON-ON-ON）を使用して図と同じように配線した場合は、スイッチレバー中央で片方コイルのみ（コイルタップ）のサウンドを得ることもできます。

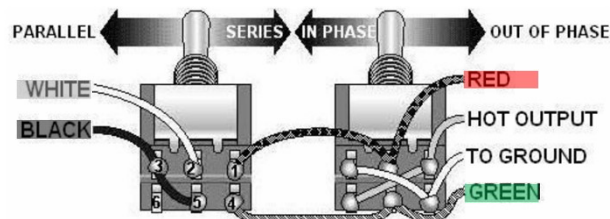
③フェイズ・スイッチを用いたワイヤリング



■フェイズアウト・ワイヤリング

スイッチを用い、音量が小さく低音がカットされた独特なフェイズ・サウンドを得る配線です。
左図は、他のピックアップとハーフトーンで用いる場合にフェイズアウトさせる配線方法です。

- DPDTスイッチを用いた配線です。DiMarzioピックアップの各色線をスイッチへ結線してください。
- DiMarzioピックアップのNORTH側コイルの巻き終わり（黒）とSOUTH側コイルの巻き始め（白）はハンダで結線しテープングして下さい。ハダカ線は常にアースへ落としてください。
- ご自身のギターの回路の従来ホット線を繋いでいた部分に、“HOT OUTPUT”を結線して下さい。



また、一つのDiMarzioピックアップに対し二つのスイッチを使えば、先述のデュアル・サウンド・ワイヤリングとこのフェイズアウト・ワイヤリングとを併せた配線とすることも可能です。

+ 図時の通りDiMarzioパーツのEP1106（6P ON-ON）または、同じくEP1200PP（250Ω）、EP1201PP（500Ω）を使用してこの配線を実現することができます。

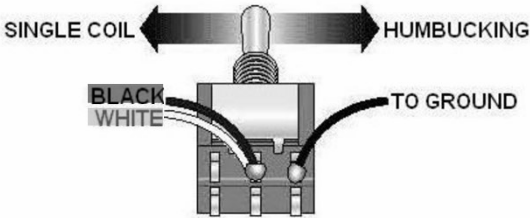
④片側のコイルをキャンセルするワイヤリング

■シングル・コイル・キャンセル・ワイヤリング（コイルタップ・ワイヤリング）

ハムバッキング・ピックアップの片側のコイルをキャンセルすることにより、あたかもシングル・コイル・ピックアップのようなブライでクリーンなサウンドを得ることができます。
ただし、音量はノーマル配線と比較して小さくなり、60サイクル程度のハムノイズが発生します。
オプション配線のなかではポピュラーで、人気の高い配線です。

+

弦までの距離を近めにセットアップしたHS™、Area™、Virtual Vintage™などバーチカル・タイプの（スタック・コイル式の）ハムバッキング・ピックアップの場合、コイルタップを選んだ場合にも通常のシングル・コイル・ピックアップと同等の音量を確保できるモデルもあります。

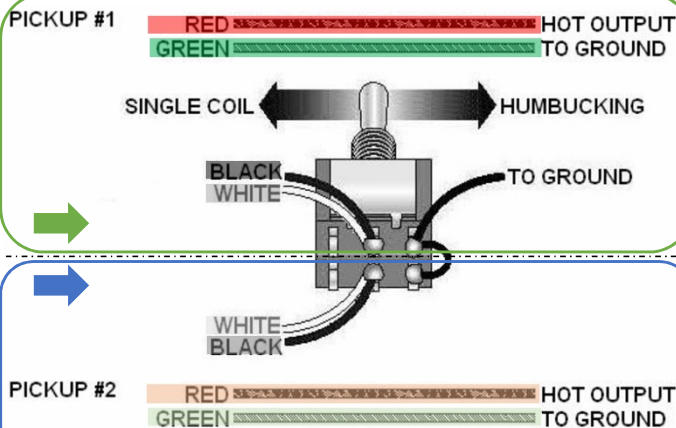


1. DPDTスイッチで配線します。（推奨パーツは前出デュアル・サウンド等と同じ。）
2. DiMarzio®ピックアップの赤は、通常の出力へ結線します。
3. DiMarzio®ピックアップの緑はハダカ線と共にアースへ落として下さい。
4. DiMarzio®ピックアップの黒と白は図の通り結線します。

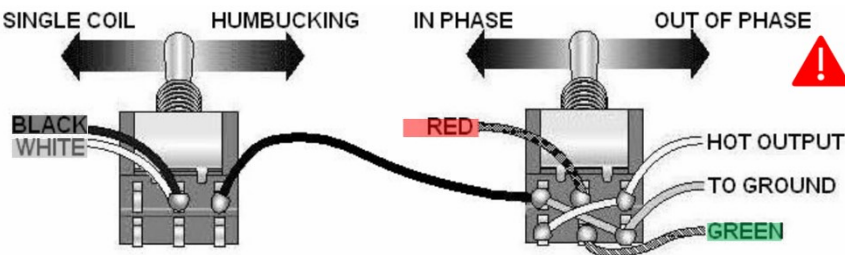
+

コイル・タップの場合、上図の通り2系統あるスイッチの回路のうち片方しか使用しないことになります。そのため、もう片方の回路に別のハムバッキング・ピックアップを結線して、同時にコイルタップをコントロールすることが可能です。下図を参考にしてください。

1. 右図のスイッチ上側の回路にピックアップ#1を、下側の回路にピックアップ#2を結線します。
2. どちらもピックアップの赤は、通常の出力へ結線します。またどちらもピックアップの緑はハダカ線と共にアースへ落として下さい。
3. どちらのピックアップも黒と白は図の通りスイッチと結線します。

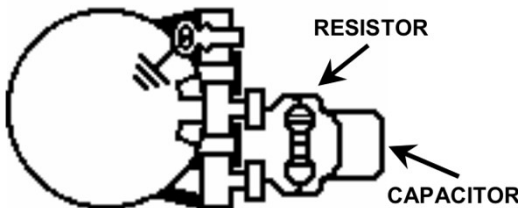


コイルタップ・ワイヤリングとフェイズアウト・ワイヤリングを組み合わせる場合は、下図のような配線となります。



HS™、Area™、Virtual Vintage™などバーチカル・タイプの（スタック・コイル式の）ハムバッキング・ピックアップには効果がありません。

⑤フィルターを取り付ける効果



■ハイパス（ローカット）フィルター

多くのプレイヤーが、ボリュームを下げたときの高音域のロスに悩まされています。
これを解消するためには、560pFのキャパシタ（コンデンサー）と270K～300K程度のレジスタ（抵抗）を、ボリューム・ポットに図のように並列に結線しましょう。

+

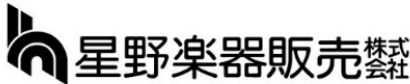
DiMarzioパーツはコンデンサー：EP1560、抵抗：EP2300をお奨めします。抵抗はお好みの効き具合のものを電気店で求められても良いでしょう。

+

ハムバッキング・ピックアップのボリュームおよびトーンなどのコントロール・ポットには、多くのギター・メーカーが500KΩのものを採用しています。
ボリュームに250KΩのポットを使用すると、サウンドは若干ウームに、音量はわずかに小さくなるでしょう。
ボリューム・コントロール・ポットに取り付けるコンデンサーや抵抗については、上記をご参考ください。
なお、トーン・コントロール・ポットのコンデンサーには、0.022μFのものをお奨めしています。



1388 Richmond Terrace
P.O. Box 100387
Staten Island, NY 10310 USA
Tel (718) 981-9286 Tech (718) 816-8112
Fax (718) 720-5296
www.dimarzio.com



〒489-0871 愛知県瀬戸市東長根町119
TEL：0561 (89) 6900
Mail to：trd.hoshinohanbai@hoshinogakki.co.jp
当規定は2020年4月1日現在のものです。